

1 テーマ

自分でのばそう みんなでのばそう
～「スタディ・ログ」で学びを深める「ぐんぐんタイム」～

2 テーマ設定の理由

本校では、令和4年度から「自分でのばそう みんなでのばそう」を主題に掲げ、算数科を中心に、児童一人一人が自分の理解度に合わせて課題選択して学習する「ぐんぐんタイム」に取り組んできた。昨年度は、「ぐんぐんタイム」の終わりに振り返りの場を設けた。学習内容や学習姿勢を振り返ったことで、児童は自分の理解度に合った課題を選択し、集中できる場所で学習したり、分からないときだけ友達に聞きに行ったりして、自分で学習の仕方を改善しながら「ぐんぐんタイム」をより生かす姿が見られるようになった。このような姿は、ナゴヤ学びのコンパスが目指す一人一人が自律して学び続ける姿につながるものである。

しかし、昨年度末の学力調査では、児童の中には、各教科の学習内容がしっかりと身に付いていない児童も多いことがわかった。また、職員と保護者の学校評価においても、児童は計画的に学習に取り組めていないとの回答が多く、本校の課題であると考えた。

そこで、本年度は、学習前に目標や計画を立てたり、学習を進めていく中で、目標や計画を見直したりして、自分にとって最適の課題に取り組めるように手立てを講じる。この手立てにより、自分が取り組むべき課題を見出す力を高めるとともに、学習内容の定着を図ることができると考える。本研究を通して、本校が目指す主体的に学ぶ子の育成を追究していきたい。

3 実践方法

(1) 「スタディ・ログ」

目標や計画、取り組む教科や内容、振り返りを累積するシート。ロイロノートで作成し、見返すことや他者と共有することもできる。

5/7～ 5/17 **目標**

1. 漢字テストで100点を取る！
2. 算数の大きい数のわり算ができるようにする！
→ 2けた÷1けたがスラスラできるようにする。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
	漢字を10回ずつ練習する。	本番と同じ漢字テストの練習をする。	算数のわり算問題を5問解く。	3年生のわり算問題を10問解く。
3年生のわり算問題を15問解く。				

※ スタディ・ログは、学年によって、1週間の短期間にしたり、4週間の中長期間にしたりする。

- ① 今後の目標を立てる。
- ② その日の振り返りは○や△などの記号でもよい。
- ③ 目標が合わなかった場合は、目標を見直し、修正したり追加したりする。
- ④ 立てた目標を見返して次の日の計画を立てる。
- ⑤ 目標に対する振り返りは文章で行う。

振り返り ○集中して取り組めた。漢字も丁寧に書けたと思う。漢字をスラスラと書けるようにしたい。
●算数の問題がすぐに解けなかった。簡単な問題から復習する。

例：スタディ・ログ

(2) 「朝帯ぐんぐんタイム」の活用

朝の帯の時間（8時30分～8時45分）の15分間はぐんぐんタイムに取り組むようにする。低学年は複数ある課題の中から自己選択し、高学年は自分で学習する教科、内容を自己決定する。

目標と計画の確認	学習 ぐんぐんタイム	目標の見直しと次の計画 学習の振り返り
----------	----------------------	------------------------

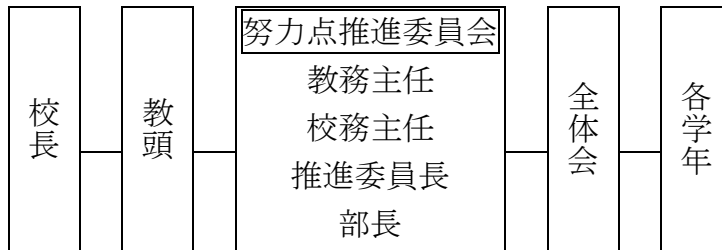
- ※ 朝帯と1限をつなげて、60分間のぐんぐんタイムでもよい。
- ※ 国語、算数、社会、理科、読書、調べ学習、まとめ学習など。

例：朝帯の15分の活用

4 推進方法

- (1) 推進委員会を通して、努力点推進の連絡・調整を行い、推進の基本方針、内容・方法を検討し、今後の推進方法や問題点の解決を図ったりする。
- (2) 全体会を通して、テーマや研究の推進方法の共通理解を図る。
- (3) **努力点授業は、スタディ・ログと学習計画表などを作成する。(PDF保存)**
- ~~(4) 5～9月に1名、10～12月に1名ずつ代表授業者を決定し、事前(後)検討会を設ける。(1～3年/4～6年でそれぞれ1人)⇒~~ **これまで通り、1人1実践公開授業を行う。**
- (5) 前期までの児童の様子を10月に学校だより(努力点号)、1年間の児童の様子を2月に学年だより(3月号)を作成する。学年だより3月号を基に、最終報告会をもつ。報告書の詳細については、後日提示する。

5 研究組織



6 目指す子ども像

- ① **誠実性**：何度も粘り強く繰り返し、ゴールに向かって学習することができる。
- ② **外向性**：自ら進んで取り組んだり、自分の考えを伝えたりしながら様々な人と学習することができる。
- ③ **協調性**：自分の困り感を伝えたり、仲間と話し合ったりしながら学習することができる。
- ④ **開放性**：異なる考えを参考にして、新たなことに向かって学習することができる。
- ⑤ **安定性**：周りに影響されることなく、自分のペースで学習することができる。

7 努力点研究にかかわる日程

- ※ ~~代表授業は前期<5～9月>、後期<10～12月>の間にそれぞれ1回ずつ行う。~~
- ※ 授業実践の時期が集中しないように、丁寧に計画を行う。
- ※ 学年だより3月号では、児童の言葉や様子などを中心に載せる。

月	日	曜	内 容
3	14	木	・推進計画の検討 <推進委員会>
4	8	月	・推進計画の決定 <職員会議> (5月中旬に児童への実態調査(アンケート実施を検討))
4	30	火	・各学級授業実施提出締め切り
9月中			※ 9月中に児童への実態調査(アンケート実施を検討) 中間報告会を検討中
10	18	金	・学校だよりにて報告 ※ New teachers フォルダ内に保存
1	27	金	・学校評価による アンケート実施 ※ 2月上旬に児童への実態調査(教科書セット内にある学年末テスト)実施
2	17	月	・最終報告会 → 学年だよりにて報告 ※ New teachers フォルダ内に保存
3	13	木	・R7年度 推進計画の検討 <推進委員会>